

～能登半島をフィールドに歴史、文化、未来可能性を見る、知る～

能登は教育研究の場として様々な価値を持っています。その教育研究的価値は、今後の社会を作っていくために求められている様々な知恵や行為に結びつくものです。すでに、能登半島の珠洲市を中心に「学術面から環日本海域の環境ガバナンスの確立を目指す試み」(通称「能登スーパーサイト構想」)や「人口減少や過疎化を抱えた地域の再生・活性を確実なものにするための対策を作りだす活動」(通称「里山里海再生学」)といった研究プログラムが始まっています。また、2011年6月、能登半島は新潟県佐渡市とともに、国連世界食糧農業機関(FAO・本部ローマ)が認定する世界重要農業遺産システム(「Globally Important Agricultural Heritage Systems=GIAHS、通称「世界農業遺産」)に選ばれました。生物多様性と農業など、人間社会と自然環境が調和する持続可能な社会のモデルと国際的に認められたわけです。能登を通して歴史や文化、そして人の営みを理解する。さらに、未曾有の困難に見舞われている日本の現状を未来有るものにする手がかりを見つける授業にしたいと思い、この科目を設けました。みなさんの参加を期待します。

日時：2012年9月13日(木)～15日(土)

場所：輪島市、珠洲市、七尾市ほか

参加費(宿泊・教材込み)15,000円

事前ガイダンス 9月10日(月)10時～11時

場所：金沢大学地域連携推進センター2F講義室

9月13日(木) 9:00 金沢大学「中央バス停」前の広場 出発

第1セッション「Japan＝輪島塗の世界、その美と伝統の技」

- ・講義「輪島塗、そのイノベーションの歴史」
- ・講義「木から塗り物へ、いかにJapanブランドに成長したのか」

宿泊：輪島市内



9月14日(金)

第2セッション「キリコ祭りの世界、トランスに誘う地域の祭礼文化」

- ・講義「高さ14m、キリコ＝奉灯の進化論」
- ・講義「持続可能なコミュニティと祭り文化」
- ・講義「能登の祭りは文化の多様性」

宿泊：珠洲市内



キリコ祭りの体験も可能

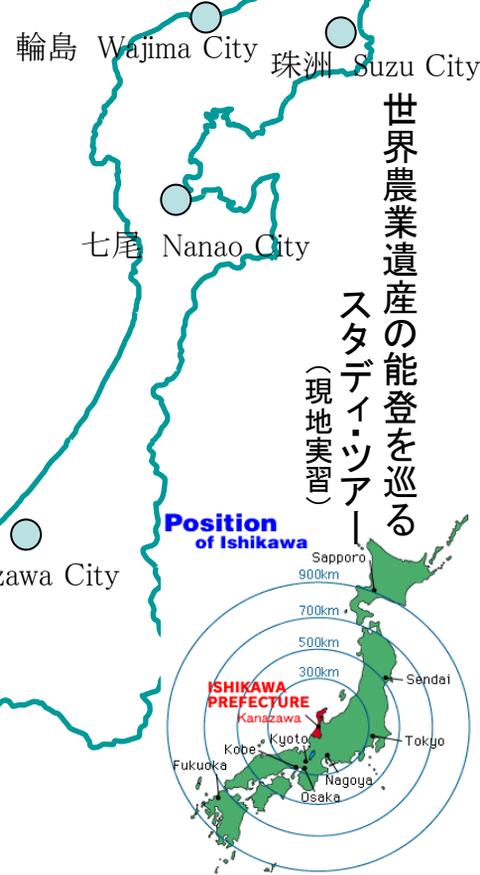


9月15日(土)

第3セッション「能登の里海 七尾湾の森は海の恋人論」

- ・講義「七尾湾、イルカのコロニーを訪ねる」
- ・講義「七尾湾のカキ養殖、里山と川のかかわり」

金沢大学到着 18:00ごろ



世界農業遺産の能登を巡る
スタディツアー
(現地実習)

【コーディネート】

金沢大学「能登オペレーティング・ユニット」

※金沢大学の「能登をフィールドとして学ぶ(教育)、考える(研究)を展開する」を全面的に支援しています。

金沢大学能登学舎



珠洲市三崎町小泊

TEL: 0768-88-2568
fax: 0768-88-2899